

福岡県宿泊税200円案

徴収額は1人1泊一律

福岡県は31日、ホテルや旅館の宿泊客から徴収する宿泊税の導入に向けた有識者会議を開き、徴収額を1人1泊一律200円にする制度の原案をまとめた。民泊や簡易宿所を含むすべての宿泊施設が対象。どちら

が課税するかで綱引きを続ける福岡市との調整も想定し、市町村が独自に課税する場合は県分を1000円に減らす案も検討する。

東京都など導入済みの自治体は宿泊料金で徴収額に差をつけているが、県の原案は「旅行者が受ける公共サービスは同じ」として一律200円とした。県内のべ宿泊者数は年1800万人で、導入による徴収を36億円と見込む。12月議会にも条例案を提出する。

福岡市は24日、徴収額を1泊2万円未満で200円、それ以上なら500円とする制度原案をまとめている。県と市が導入すれば「二重課税」となる恐れもあるが、具体的な協議はできていない状況だ。

■福岡県と福岡市の宿泊税制度原案

	福岡県	福岡市
1人1泊あたりの徴収額	200円 (市町村が課税する場合は100円)	200円 (1泊2万円未満) 500円 (1泊2万円以上)
課税対象	すべての宿泊施設	すべての宿泊施設
のべ宿泊者数	1800万人	1200万人
想定する徴収	36億円	24.3億円
導入の目標時期	2020年度	未定